

平成28年度  
特別支援教育専攻  
試験問題表紙

解答上の注意

1. 試験問題表紙1枚、問題用紙2枚、解答用紙2枚あるかどうかを確認すること。
2. 試験問題は、障害児教育、障害児心理、障害児病理・生理、教育学、教育心理の5分野に分かれている。  
この5分野から、1分野を選択して解答すること。
3. 解答用紙にある選択受験分野表に、選択した1分野を○印を入れて示すこと。
4. すべての解答用紙の受験番号欄に受験番号を必ず記入すること。
5. 解答は、解答用紙の表面のみ使用すること。裏面への記述は採点対象外とする。
6. 試験終了後は、解答用紙のみを回収するので、解答用紙以外は持ち帰ること。

# 特別支援教育専攻・試験問題

## 問題用紙 全2枚 (その1)

### 障害児教育

問1 左右差のある発達障害児の運動企画の指導について、論じなさい。

問2 特別支援学校(知的障害)の第一段階の児童の国語の指導について、具体的な指導内容を例示しなさい。

### 障害児心理

問1 児童生徒の社会性の成熟度を捉えるために開発された「発達検査」について、知るところを述べなさい。

問2 「障害のある子どもの自己効力感」について、知るところを述べなさい。

### 障害児病理・生理

問1 自閉症児の早期発見、早期治療、そして適切な教育がなぜ必要なのかについて、生理・病理学的な立場から説明しなさい。

問2 健常児に比べ、発達障害児では「てんかん」を併発するケースが多いと言われております。発達障害児の「てんかん」の一例をあげて知るところを述べなさい。

特別支援教育専攻・試験問題

問題用紙 全2枚 (その2)

教育学

問1 「チームとしての学校」が求められる背景とそれを実現するための具体的な方策を述べなさい。

問2 新たな学校の種類として設けられた「義務教育学校」について、知るところを述べなさい。

教育心理

問1 児童生徒の学力的な到達度を捉えるために開発された「標準学力検査」について、知るところを述べなさい。

問2 「操作的定義」について、知るところを述べなさい。